



2015企画展示

日韓国交正常化50年を問う

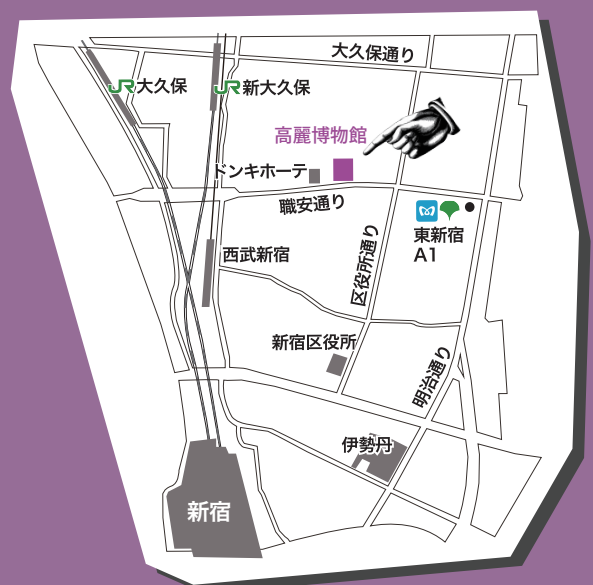


戦後、日本と韓国とは国交が途絶えていました。1965年の日韓基本条約によって国交が回復し、今では年に500万人の人々が往来して交流しています。しかし、植民地時代に持ち出した文化財の返還問題や戦時労働動員の未払い賃金問題など、残された問題がたくさんあります。これらの事実を知り相互理解を深め、日韓の友好に役立てていきたいと思ひます。

2015.12.2(水)～2016.3.27(日)

講演会

- 1月23日(土) 14:00-16:00
講師：李 洋秀 (日韓会談文書-全面公開を求める会事務局次長)
演題：「日韓会談で何が話し合われたのか」
 - 2月20日(土) 14:00-16:00
講師：龍田 光司 (在日朝鮮人運動史研究会)
演題：「常磐炭鉱強制動員の未払い賃金とは？」
- 参加費：各回 ¥1000 場所：高麗博物館
要予約：03-5272-3510 (高麗博物館)



認定NPO法人 高麗博物館

東京都新宿区大久保 1-12-1 第2韓国広場ビル 7F
開館時間 / 12:00-17:00 休館日 / 月曜日・火曜日

TEL:03-5272-3510 FAX:03-3207-0533
入館料 ¥400(中高生 ¥200)